

研修テーマ 死と向き合う人々や犯罪被害者・遺族から学ぶ

本テーマのねらい

<ul style="list-style-type: none"> ・死と向き合う人々からの話を聞き、その生き方にふれることにより、命のかけがえのなさを感じ、生きることの意義を考える。 ・犯罪被害者や遺族の声を聞くことにより、かけがえのない人を失った悲しみや怒りにふれ、命のかけがえのなさについて体験的に実感する。 ・「命を守るために自分にできること」のテーマで討議することで、命の危機に対する認識を深める。
--

内容

< >ターミナルケアに携わる人々の話を聞いて	
ね ら い：死と向き合う人々の話を聞き、生きることの意義について考える。	
所 要 時 間：1時間35分	
準 備 物：いす、机、筆記用具、タイマー	
内 容	
活動内容	留意点
(注) 太字は研修リーダーの台詞 (注) 印は留意点、 印は活動の意図	
00:00 1 ねらいについて説明する。 「この研修のねらいは、死と向き合う人々からの話を聞き、『限りある命をどう生きるか』のテーマで討議することで、教員自身が命の大切さ、命のかけがえのなさに対する認識を持つことです。」	研修のねらいを確認する。 ・死と向き合う人々からの話を聞く ・「限りある命をどう生きるか」のテーマで討議する ・教員自身が命の大切さ、命のかけがえのなさに対する認識を持つ
00:05 2 死と向き合う人々の声を聞き、命のかけがえのなさを実感する。 (1) 「今から、死と向き合う仕事をされておられる方(ホスピス医等)のお話を伺います。」 (2) 「 様は、 に所属されています。なお、受講者の方々は、プライバシーの保護には十分配慮くださいますよう、特にお願しいたします。それでは 様、よろしくお願しいたします。」 (講話) (講話後： 様、有り難うございました) (3) 「 様には、引き続き研修にご同席いただき、この後の協議の様子をご覧いただき、最後にコメントを頂戴します。」	死と向き合う人々の声を直接聞くことで、命の大切さや命のかけがえのなさ、命の危機に対しての認識を持つ。 事前に「命の大切さ」を実感させる教育プログラムの趣旨や研修の目的について講師と十分打ち合わせをし、講義内容、ねらい、話の要点を整理しておく。 個人情報の保護やプライバシーへの配慮について、注意を喚起する。 要点のメモをとる。
00:35 3 4～5人のグループをつくる。 (1) 「近くの人同士で4人のグループをつくってください。人数が余れば5人グループでも結構です。」 (2) 「グループで輪になってください」	近くの者同士が、4～5名1グループで輪になって座る。

<p>00:40</p> <p>4 死と向き合う人々の話を聞いた感想を出し合う。 「先ほどのお話の要点は、</p> <p>というお話だったと思います。 ゲストティーチャーの話聞いた感想を、特に命の大切さや命のかけがえのなさについてグループで出し合ってください。」</p>	<p>命の大切さや命のかけがえのなさについて、互いに共感できるところ等を確認し合う。要点をまとめることで参加者の理解を深める。</p>
<p>00:50</p> <p>5 フリートークで、テーマ「限りある命をどう生きるか」についてグループ討議をする。 「今度はグループで『限りある命を、自分はどう生きるか』ということについてフリートークをしてください。なお、後で全体討議をしますからその時の発表者を決めておいてください。」</p>	<p>グループ内で「限りある命をどう生きるか」のテーマで、フリートークをする。</p>
<p>01:10</p> <p>6 全体で討議をする。 「先ほど各グループで話し合った内容を発表してもらいます。各グループの発表者の方は、3分程度で発表してください。」</p> <p>7 全体討議のまとめをする。 「では、講師の 様から各グループの発表についてのコメントをいただきます。」</p>	<p>グループ討議の内容をもとに全体で討議する。</p> <p>講師の方からコメントをいただく。</p>
<p>01:30</p> <p>8 まとめをする。 (1) 「講師の先生には、本日は貴重なお話をしていたいただき有り難うございました。」 (2) 「本研修は、死と向き合う人々からの話を聞き、生きることの意義について考えることをねらいとして実施しましたが、いかがだったでしょうか。 今日是非常に重いテーマで討議をしていただきました。……………」 (3) 「ぜひ本研修の体験を生かしていただき子どもたちにも、命の大切さやそのかけがえのなさを実感させていきたいと思えます。なお、受講者の方々は、本日のお話に関わる内容について、プライバシー及び個人情報の保護には十分配慮くださいますよう、重ねてお願いいたします。本日はご多忙の中ありがとうございました。」</p>	<p>講師の方へのお礼とともに、本研修で学んだことを確認する。</p> <p>「……………」の部分では、研修後にテーマの重さを引きずらないようなコメントを含めること。</p> <p>個人情報の保護やプライバシーへの配慮について、注意を喚起する。</p>
<p>01:35</p>	